



KASUMIGASEKI CAPITAL

その課題を、価値へ。

Turning Challenge into Value



KASUMIGASEKI CAPITAL

## 会社概要

会社名	霞ヶ関キャピタル株式会社
設立/決算期	2011年9月
代表	代表取締役 河本 幸士郎
本社	東京都千代田区霞が関三丁目2番1号
資本金	190億236万円（資本準備金含む）
従業員数	349名（単独）

沿革	2011年9月	宮城県仙台市において当社を設立し、ショッピングセンター事業を開始
	2014年9月	マンション開発に係るコンサルティングを行い、不動産コンサルティング事業を開始
	2018年11月	東京証券取引所マザーズ市場(現：東証グロース市場)へ上場
	2021年12月	物流子会社としてJV会社設立
	2023年10月	東京証券取引所プライム市場に上場市場区分変更

※2025年8月末日現在

# 会社紹介：主な事業

## 物流施設開発



## ホテル開発



## ヘルスケア施設 開発



## 海外



# 霞ヶ関キャピタルおよびクロスネットワークの目指す世界観

## ローカル・単一型



どの倉庫に  
預けるか??



東京の  
倉庫A

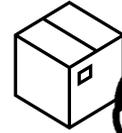


東京の  
倉庫B

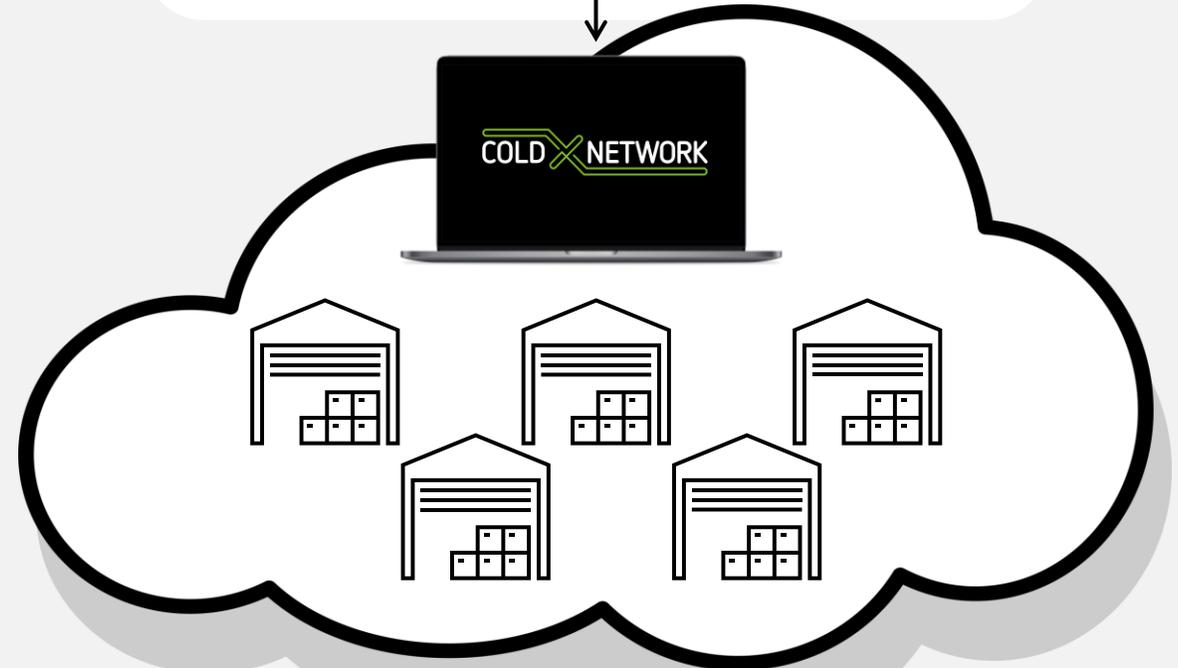


埼玉の  
倉庫A

## ネットワーク型



COLD X NETWORKに  
お願いしよう!



自社倉庫や登録他社倉庫含めた拠点ネットワーク



KASUMIGASEKI CAPITAL

## 高付加価値 施設開発



日本全国で  
**23棟**  
開発中含む



LOGI FLAG



## 倉庫運営 ネットワークの構築



# LOGI FLAG TECH



## 業務効率化と労働環境改善を同時に実現可能

【オートメーション（無人）化による変化】

### ■ 従来の冷凍冷蔵倉庫

荷物位置を人が把握

荷崩れやフォークリフトの事故等の労働災害が発生

人による作業のため定期的に採暖室での休憩が必要

入出庫ミスやフォークリフトによる破損等の発生

在庫、温度、時間等、個別に管理

### ■ LOGI FLAG TECH

システムによる最適なロケーション配置

庫内作業の自動化による労働災害の防止

24時間無人で自動稼働

システムでの自動管制による人的エラー削減

システムによる情報一元管理

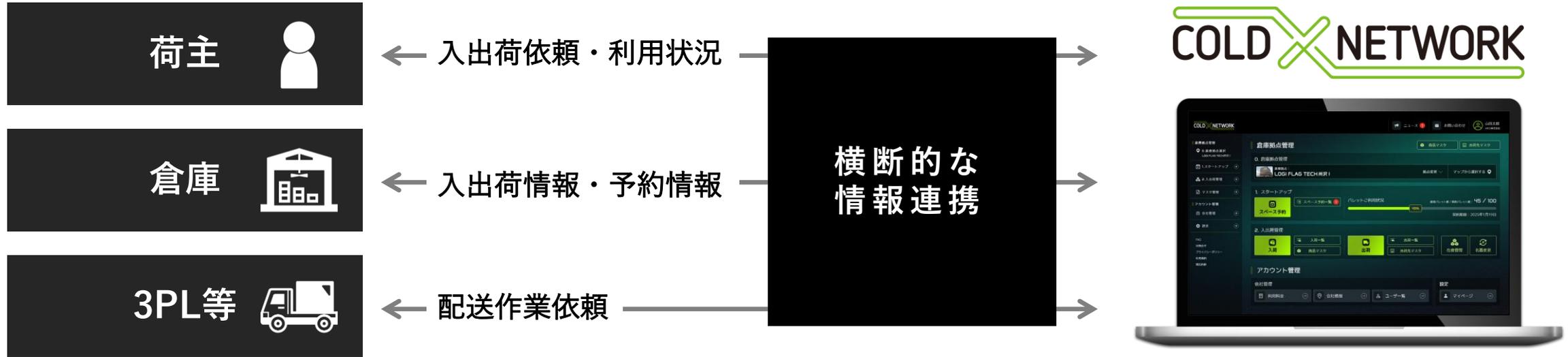


# クロスネットワークが運営する冷凍保管サービス（COLD X NETWORK）の紹介

1日1パレットから利用でき、入出庫手続・在庫管理がWeb上で完結する

## 日本初の冷凍保管サービス※を構築

※ 日本初調査総研合同会社調べ



いつでもどこでも  
WEBで状況が一目瞭然  
リアルタイムで  
予約状況が把握できる

需要に合わせた  
短期・小口保管も可能

複数拠点を横断した  
倉庫の空き状況や  
在庫情報の管理

入庫・出庫・輸配送の  
手配もWEBで完結

# フィジカルインターネット構成要素 (効率化された倉庫運営)

未来  
構想

モノの流れを“予測可能・標準化”するシームレスな物流倉庫管理～待機時間0に向けて～  
入出庫を時間スロットで管理することで、フィジカルインターネットに必要な「予測可能な物流」を実現

## 予約

### ①入出荷予約



サービスサイトへ  
入出荷予約を実施し  
予約日、時間、  
車番を決定。

### ②倉庫連携



SSサイトへ  
入出荷予約連携、  
バース管理表に  
アサイン



## 受付誘導 (未来構想)

### ③バース接車 誘導

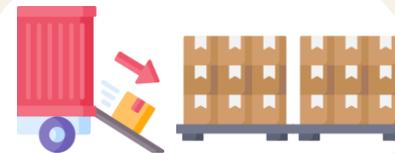


GPS連動、自動  
倉庫指示、電光  
掲示による着車  
バース案内

### ④荷降/積込



作業開始時、  
終了時に作業  
端末にQRコード  
をかざす。



## 退場

### ⑤退場



作業完了通知を  
ドライバー/運送  
会社へ通知

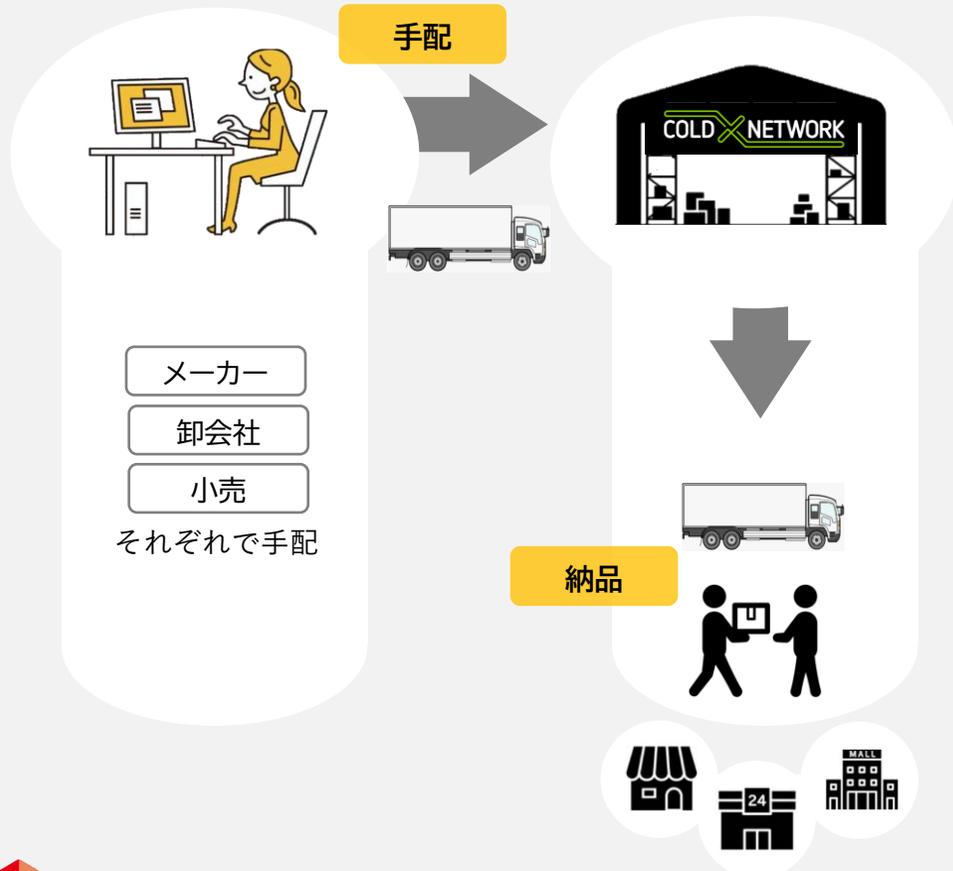
GPS連動+車番認証+電光掲示板にて待機時間「削減」にてバース誘導  
バース管理+WMS/RobotのIF連携にて荷量連動、トラック待機「削減」

# 車両手配の未来構想 (輸配送の効率化)

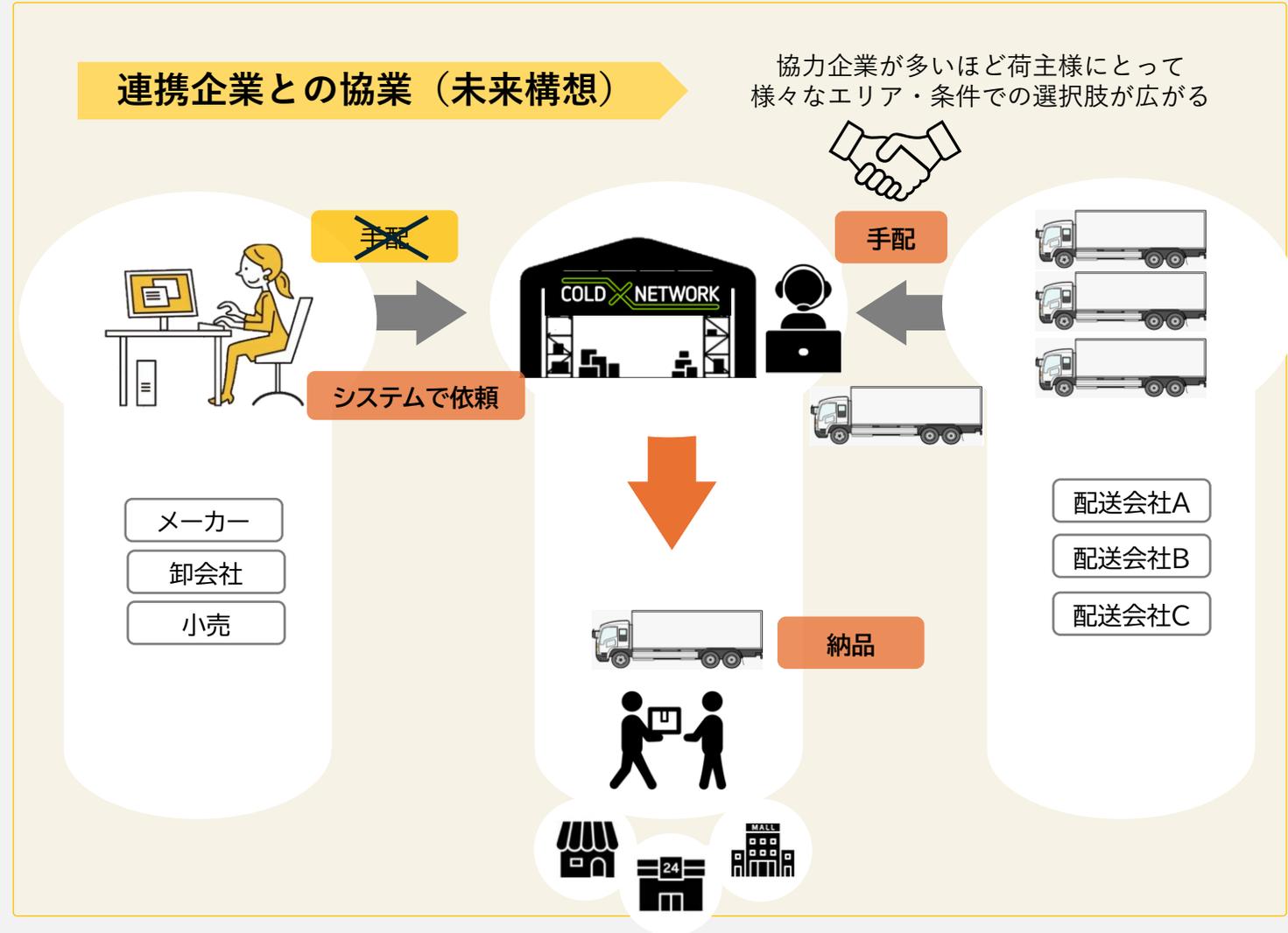
未来  
構想

将来的には、COLD X NETWORK側での車両手配によりシームレスな配送構築を目指す

荷主様側が車両手配 (現状)



連携企業との協業 (未来構想)



今後展開予定の拠点間を中心に  
定期輸送も検討中共同配送等も積極的に検討



仙台泉センター



越谷センター (予定)



所沢センター



大阪南港センター (計画中)



名古屋みなとセンター (計画中)



東扇島センター I・II (計画中)



# 具体的な取り組み事例の効果

定量的効果（数値）として、自動倉庫による運用1年間（2025年1月～2025年12月現在）の実績を提示。

## 人件費削減

### 自動搬送設備の導入



倉庫内作業に  
かかる人件費を  
約**1/3**削減

マイナス25度帯での作業を  
自動化・省人化

同規模倉庫と比較し  
少ない作業員で運用が可能に

※一般的な床あり同規模倉庫と比較した場合

## 作業品質改善

### 自動化設備と徹底したシステム化



システム化によりオペレーションも  
高い品質を担保

稼働開始以降、  
入出庫やピッキングにおけるミス0を達成

※LOGI FLAG TECH所沢1の、マイナス25°C帯庫内でのピッキング等作業を対象として算出

## 保管効率向上

### 自動化によるパレット数増



作業用面積・人員を  
最小限に抑える

余白面積を最小限に抑え  
同じ建物面積での保管効率向上

※幅20m×奥行30m×高さ20mの建屋を、1フロア5.5m・保管3層で想定。保管ジグ（1.3m×1.2m×1.8m）とフォークリフト旋回幅3mを前提にレイアウトすると、1フロア489棚、合計で現状比289%の保管効率向上と試算

現在、倉庫事業者・物流事業者の皆さまと各種協業を推進しております。  
ご興味をお持ちいただけましたら、お気軽にお問い合わせください。

お問合せ先

霞ヶ関キャピタル株式会社  
インフライノベーション事業本部（HP窓口）  
✉ [CXN\\_info@x-network.co.jp](mailto:CXN_info@x-network.co.jp)